

めあて

単元で学習した考え方や計算の仕方を生かし、様々なものの送料について調べたり計算したりしよう。

発展課題 1

わたしたちが持っている服やカバン、本といった物は、別の場所で大量に作られ、配送業者(ものを運ぶ会社)が私たちの家や近くのお店に運んでくれます。そういったもの運んでもらうには、配送料(運んでもらうお金)がかかります。配送料は運んでもらう荷物の大きさや、重さによって変わります。自分たちの身の回りにある(教科書、リコーダーなど)クラスや学校の全員分のものを、どこかへ送る場合、配送料はいくらかかるのか求めてみましょう。今回は、箱の大きさは考えず、重さでいくらかかるのかを求めてみましょう。



S サイズの箱

M サイズの箱

L サイズの箱

S サイズの箱・・・重さ 5kg まで (たて 30cm, 横 40cm, 高さ 30cm) 送料 800 円

M サイズの箱・・・重さ 7kg まで (たて 50cm, 横 60cm, 高さ 40cm) 送料 1000 円

L サイズの箱・・・重さ 12kg まで (たて 70cm, 横 80cm, 高さ 50cm) 送料 1500 円

全国一律のねだん (沖縄県、離島をのぞく)

学習の条件

- ・計算は自分で行う。
- ・ノート例を参考に、何を求めているか、だれが見てもがわかるようにかく。
- ・問 1 と問 2 はそれぞれ 3 つ以上取り組む。

問 1. クラス全員分のものを運ぶときにかかる配送料を求めてみましょう (3 つ以上)

学習の手順 (例)

- ①量るものを決める
- ②ものの重さを量る
単位を kg に変える
例：教科書 361 g → 0.361kg
- ③クラス全員分の重さを求める
- ④送料を求める
- ⑤一番安い送料を答える

ノートの例

- ①理科の教科書
- ②重さ 361 g → 0.361kg
- ③ $0.361 \times \bigcirc \text{人} = 12.3\text{kg}$ (クラス全員分の重さ)
- ④・L サイズ 1 箱と S サイズ 1 箱 (17kg)
1500 円 + 800 円 = 2300 円
・M サイズ 2 箱 (14kg)
1000 円 \times 2 箱 = 2000 円・・・こっちの方が安い
- ⑤M サイズ 2 箱 2000 円で送れる

提出物 (発展 1 - ①)

何を求めているか、だれが見てもがわかるようにかく。

問 2. 学校全員分のものを運ぶときにかかる配送料を求めてみましょう (3つ以上)

学習の手順 (例)

- ①量るものを決める
- ②ものの重さを量る
単位を kg に変える
例：教科書 1039 g → 1.039kg
- ③学校全員分の重さを求める
- ④何箱分いるのか求める
- ⑤送料を求める
- ⑥必要な箱の数と送料を答える

ノートの例

- ①習字セット
- ②重さ 1039 g → 1.039kg
- ③ $1.039 \times \bigcirc \text{人} = 422.688\text{kg}$ (学校全員分の重さ)
- ④ $422.688\text{kg} \div 12\text{kg (L 箱)} = 35.224 \text{ 箱}$
35 箱 + 1 箱で 36 箱あれば送れる
- ⑤ $1500 \text{ 円} \times 36 \text{ 箱} = 54000 \text{ 円}$
- ⑥L サイズの箱が 36 箱必要で送料 54000 円かかる

提出物 (発展 1 - ②)

何を求めているか、だれが見てもがわかるようにかく。